

<p>【学校教育目標】</p> <p>ふるさと嘉麻を胸に志を持ち社会にはばたく児童生徒の育成</p>	<p>【本年度の重点目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 周りの人を大切にする言葉づかいができる児童生徒の育成</li> <li>○ 自分の考えを適切に表現できる児童生徒の育成</li> <li>○ 義務教育学校開校に向けた「心構え」を持つ児童生徒の育成</li> </ul>
--	--

【4-大変よい 3-よい 2-努力を要す 1-すぐに改善】

領域	項目	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策		
学校運営		<ul style="list-style-type: none"> <li>・同学年会での、学力向上プランの振り返り(評価・改善シート)</li> <li>・PDCA サイクルによるマネジメントの充実</li> <li>・組織的対応による協働実践</li> </ul>	3.3	<p>【3.4】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 各主務者に見通しをどのように持たせるか、協議していきましょう。</li> <li>* 義務教育学校への再編後も両校の児童生徒の交流についての効果的な取組をよろしくお願いします。</li> </ul>	<p>◇ 小学校、中学校のよさを引き出し円滑な学校運営をしていくために学校経営・運営基本方針の付加修正、改善を行う。また、重点目標達成に向けたPDCAサイクルの機能化を図る。</p>	
		<p>〈結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学期毎の指導の重点の評価及び改善策構築</li> <li>○ 校務分掌部会の開催と策の立案、協働実践</li> <li>○ 終礼レジメの配布をもとにした周知内容の徹底及び協働実践</li> <li>● 短いスパンでのPDCA サイクルの確立</li> <li>● 年間実績をもとにした見通しをもった提案等と周知</li> </ul>				
	総合所見	義務教育学校における組織的協働実践を行っていくために、小中融合を進めていく必要がある。				
教育課題(重点目標)	学力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レディネス(算数科)をもとにした分かる授業づくりの取組</li> <li>・1単位時間の中に自分の考えを書く活動(目的・内容・方法の明確化)の位置付けと習慣化</li> <li>・座席表をもとにした表現力の育成、即時評価の実施</li> <li>・専科や指導方法工夫改善教員による補充</li> <li>・家庭学習の個別化等による充実。</li> </ul>	3.3	<p>【3.2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 思考・判断・表現を育成する上でも読書の効果はあると思います。発達段階に応じた取組の工夫を期待します。授業の中でいかに表現力を育てていくか、こちらも発達段階に応じた授業改善をお願いします。</li> <li>* 先生方は児童の育成にとっても貢献されていると思うので、自己評価Aでよいかと思えます。</li> </ul>	<p>◇ 新校舎の環境を活かして読書活動の推進を図る。また、ICTを大いに活用し、自分の考えを書く活動、表現する活動を支援できるようにする。(研修部)</p>	
		<p>〈結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 算数科重点単元の達成率の伸び</li> <li>○ 学ぶ意欲の持続・向上</li> <li>● 書く活動への支援の仕方</li> <li>● 自学の質の向上と個別化による家庭学習の習慣化</li> </ul>				
		生活習慣・体力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携した「マイプランカード」取組</li> <li>・児童の実態に応じたメディア教育</li> <li>・ノースマホノーゲームの実施(稲築東中学校との連携)</li> <li>・全学年コーディネーショントレーニングの実施</li> <li>・外遊びの奨励(体力アップシートの活用)</li> </ul>	3.0	<p>【3.4】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 小中が連携して生活習慣改善、SNS 等への対応について児童・生徒・保護者への取り組みを工夫していきましょう。</li> </ul>	<p>◇ 「マイプランカード」等の取組やメディア教育の充実を図ったり保護者への周知協力を促したりすることで、生活習慣の改善を支援できるようにする。(生徒指導委員会)</p>
		<p>〈結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的な生活習慣の意識向上</li> <li>○ 体育委員会による外遊びの奨励の放送実施</li> <li>● 家庭と連携した取組の徹底(マイプランカードの提出)</li> <li>● 体力テストの結果や体力アップシートの活用</li> </ul>				
	思いやりの心・規範意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめアンケートの実施による児童の実態交流、未然防止と初期対応の徹底</li> <li>・各学級に道徳コーナーの設置と学んだ足跡を振り返る道徳ファイルの活用</li> <li>・児童の委員会活動による取組と振り返り、「あいさつ運動」「廊下の歩行」等</li> <li>・言語環境を整えるための全校的な取組(ふわふわ言葉紹介)</li> </ul>	3.4	<p>【3.8】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 子どもがどんな言葉が人の心を温かくするのかを知る上でも「ふわふわ言葉の紹介」は継続して頂けたらと思います。</li> </ul>	<p>◇ 「ふわふわ言葉」を奨励するとともに、言語に関わる取組を強化し、児童生徒のよさを積極的に発信していく。(人権・同和教育推進委員会)</p>	
	<p>〈結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめアンケート実施による組織的児童実態交流</li> <li>○ 道徳コーナーの活用状況の把握と声かけ</li> <li>○ 言語に関わる掲示コーナーの設置による啓発</li> <li>● いじめ防止に関連する道徳科学習の推進</li> <li>● 保護者や地域の情報収集と指導の充実</li> <li>● 学ばせたい道徳的価値の絞り込みと、学んだ道徳的価値の日常における振り返り</li> </ul>					
	安全・開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練(火災・地震)</li> <li>・学校通信、HPと学年・学級通信の定期発行</li> <li>・「福岡アクション3」による不登校未然防止</li> <li>・「すぐメール」での不審者事案等の情報配信と保護者への注意喚起</li> <li>・日常の家庭訪問・家庭連絡による対応の構築</li> </ul>	3.5	<p>【3.8】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 低学年から高学年まで危機管理が大変だと思えます。異学年交流等の取り組みなど、工夫しながら引き続き安全教育の徹底をお願いします。</li> </ul>	<p>◇ 「学校のきまり」や新校舎の使い方等の指導、避難訓練指導等をもとに、安全教育の充実を図る。(生徒指導委員会・安全教育係)</p>	
	<p>〈結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ マニュアルによる共通理解、注意喚起</li> <li>○ 義務教育学校開校に向けた情報発信</li> <li>● さらなる関係機関(SC・行政・福祉機関)との連携</li> <li>● 視点を明確にした意図的計画的な情報公開</li> </ul>					
	総合所見	学力向上・不登校解消などを解決していくために、義務教育学校の利点を活かしていく必要がある。				